

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2005-63116(P2005-63116A)
 【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報2005-010
 【出願番号】特願2003-291725(P2003-291725)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/06 (2006.01)

G 0 6 F 13/10 (2006.01)

H 0 4 Q 7/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/06 3 0 1 E

G 0 6 F 13/10 3 4 0 B

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データの種類の種類が区別できる属性と合わせてデータを保持する記憶部と、
 書き換え可能なメモリ上に、データの属性と優先順位の対応表を内蔵して、読み出し要求のあったデータの属性から優先順位を決定し、送信データとともにデータの優先順位を出力する制御部と、

上記制御部から指示された優先順位に従ってデータ送信を行う通信部と、

を備え、回線を介して他の装置からファイル単位でデータの読み出しまたは書き込みが可能な記憶装置。

【請求項2】

請求項1に記載の記憶装置において、

上記記憶部はファイル名の拡張子を属性とするデータを保持し、上記対応表はファイルの拡張子のリストと優先順位で構成されることを特徴とする記憶装置。

【請求項3】

請求項1に記載の記憶装置において、

上記制御部から上記通信部に優先順位を伝える際に、送信データに優先順位情報を付加して渡すか、複数のバッファを共有し、優先順位によってバッファを使い分けるか、または複数のバッファを共有し、優先順位を通知することを特徴とする記憶装置。

【請求項4】

請求項1に記載の記憶装置において、

上記優先順位の決定は、優先順位が高いと分類される属性のファイルがアクセスされ、固定の転送速度が予め決まっていなかった場合には優先順位を下げるか、或いは、優先順位が高いと分類される属性のファイルがアクセスされ、固定の転送速度が決まっている場合には優先順位を上げることを特徴とする記憶装置。

【請求項5】

請求項1に記載の記憶装置において、

上記データの属性と上記対応表の更新は、回線または内蔵される有線通信手段を介して行うことを特徴とする記憶装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の記憶装置において、

上記優先順位の決定は、圧縮データを示すストリーミングデータ拡張子を属性とするファイル名のデータを比較的高い優先順位とし、非圧縮データを示す拡張子を属性とするファイル名のデータを比較的低い優先順位とすることを特徴とする記憶装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の記憶装置において、

上記優先順位の決定は、リアルタイム転送するファイル名のデータを比較的高い優先順位とし、ファイル転送するファイル名のデータを比較的低い優先順位とすることを特徴とする記憶装置。

【請求項 8】

データの種類の種類が区別できる属性と合わせてデータを保持する記憶部と、書き換え可能なメモリ上に、データの属性と優先順位の対応表を内蔵して、読み出し要求のあったデータの属性から優先順位を決定し、送信データとともにデータの優先順位を出力する制御部と、上記制御部から指示された優先順位に従ってデータ送信を行う通信部と、を有し、回線を介して他の装置からファイル単位でデータの読み出しまたは書き込みが可能な記憶装置と、

上記回線を介して上記記憶装置に対してデータの書き込み時にはデータを送信し、読み出し時にはファイル読み出しのアクセスを行い、上記記憶装置から転送されたデータを受信する端末装置と

を備えた記憶システム。

【請求項 9】

受信時に、

通信部によりデータ受信を行うステップと、

書き換え可能なメモリ上に、データの属性と優先順位の対応表を内蔵する制御部により、書き込み要求のあったデータの属性から優先順位を決定し、受信データとともにデータの優先順位を出力するステップと、

上記制御部から指示された優先順位に従ってデータの種類の種類が区別できる属性と合わせてデータを記憶部に保持するステップと、

送信時に、

データの種類の種類が区別できる属性と合わせて記憶部に保持されたデータを読み出すステップと、

書き換え可能なメモリ上に、データの属性と優先順位の対応表を内蔵する制御部により、読み出し要求のあったデータの属性から優先順位を決定し、送信データとともにデータの優先順位を出力するステップと、

上記制御部から指示された優先順位に従って通信部によりデータ送信を行うステップと

、

を備え、回線を介して他の装置からファイル単位でデータの読み出しまたは書き込みが可能な記憶装置における通信方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記憶装置、記憶システムおよび通信方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記課題を解決し、本発明の目的を達成するため、本発明の記憶装置は、データの種類が区別できる属性と合わせてデータを保持する記憶部と、書き換え可能なメモリ上に、データの属性と優先順位の対応表を内蔵して、読み出し要求のあったデータの属性から優先順位を決定し、送信データとともにデータの優先順位を出力する制御部と、上記制御部から指示された優先順位に従ってデータ送信を行う通信部と、を備え、回線を介して他の装置からファイル単位でデータの読み出しまたは書き込みが可能なものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明の記憶システムは、データの種類が区別できる属性と合わせてデータを保持する記憶部と、書き換え可能なメモリ上に、データの属性と優先順位の対応表を内蔵して、読み出し要求のあったデータの属性から優先順位を決定し、送信データとともにデータの優先順位を出力する制御部と、上記制御部から指示された優先順位に従ってデータ送信を行う通信部と、を有し、回線を介して他の装置からファイル単位でデータの読み出しまたは書き込みが可能な記憶装置と、上記回線を介して上記記憶装置に対してデータの書き込み時にはデータを送信し、読み出し時にはファイル読み出しのアクセスを行い、上記記憶装置から転送されたデータを受信する端末装置とを備えたものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本発明の通信方法は、受信時に、通信部によりデータ受信を行うステップと、書き換え可能なメモリ上に、データの属性と優先順位の対応表を内蔵する制御部により、書き込み要求のあったデータの属性から優先順位を決定し、受信データとともにデータの優先順位を出力するステップと、上記制御部から指示された優先順位に従ってデータの種類が区別できる属性と合わせてデータを記憶部に保持するステップと、送信時に、データの種類が区別できる属性と合わせて記憶部に保持されたデータを読み出すステップと、書き換え可能なメモリ上に、データの属性と優先順位の対応表を内蔵する制御部により、読み出し要求のあったデータの属性から優先順位を決定し、送信データとともにデータの優先順位を出力するステップと、上記制御部から指示された優先順位に従って通信部によりデータ送信を行うステップと、を備え、回線を介して他の装置からファイル単位でデータの読み出しまたは書き込みが可能な記憶装置におけるものである。